

議会だより

せら



めざせ アスリート

■今号の主な記事

- 平成26年度決算を認定 2～3
- 視察研修報告 5～6
- 請願・陳情 9
- ズバリ **町政の課題** 12議員28問を質す ... 11～23
- 元気な人紹介 24

No.43 平成27年10月15日発行
メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

決算を認定

一般会計は、3億7千万円の黒字となったが依然として自主材源比率は24.8%と低く、5割近い地方交付税の依存構造は変化なく、施策の選択と集中による経常経費の削減が必要。

決算の概要

安心して
住み続けられる
健康・福祉の
まちづくり

福祉サービス全般において適正な実施に努めた。障害者福祉は制度の充実、地域福祉は外出支援事業のタクシー助成金、健康増進対策としてがん検診推進員、食育フェスタを開催し、健康意識の向上を図り、地域医療を守るため、「地域医療を考える集い」を、児童福祉では「世羅町子ども子育て支援事業計画」を策定。保育所運営は、保育サービスの質的向上や児童の入所動向を的確に把握し行った。

産業が元氣な
まちづくり

世羅町農業振興ビジョンに基づき、農業振興の施策を推進した。全国から農業をめざす次世代の担い手を確保し、持続可能なまちづくりをめざす。

した未来創造計画に基づく諸施策を推進した。有害鳥獣捕獲や被害防止の対策強化については国や県のモデル集落設置支援事業を活用し農業生産環境整備に努めた。今後も強力に諸施策を進める。

豊かな心を育む
教育・文化の
まちづくり

児童、生徒の学ぶ意欲を育て、知・徳・体の基礎基本を着実に習得するほか、思考力・判断力・表現力などの能力の育成に努めた。「せら教育の日」には「輝くせらの学校文化発表会」を開催し、特色ある学校文化の交流を通して児童・生徒の交流ができた。

快適で安全な
まちづくり

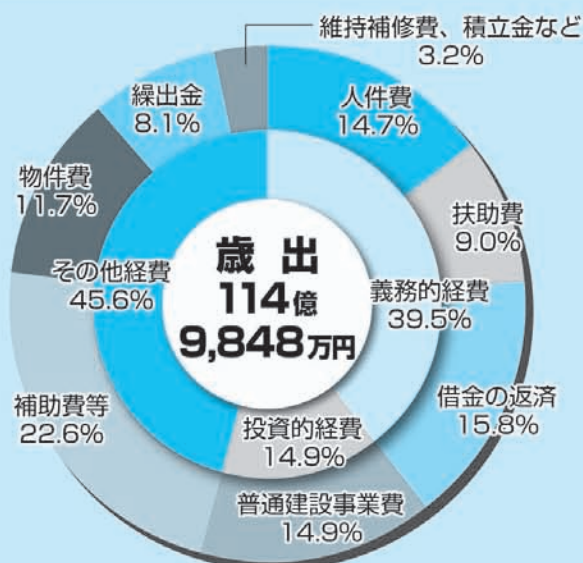
国県道については、基幹道路網整備のため、改良や歩道設置が円滑に進められるよう働きかけた。合併浄化槽の適

歳出決算額

人件費	16億8,629万円
扶助費	10億3,334万円
借金の返済	18億2,214万円
普通建設事業費	17億1,438万円
補助費等	25億9,653万円
物件費	13億4,738万円
繰出金	9億2,777万円
維持補修費、積立金など	3億7,065万円
合計	114億9,848万円

※維持補修費、積立金などの内訳

維持補修費：2億2427万円
投資及び出資金・貸付金：1,000万円
積立金：8,290万円
災害復旧事業費：5,348万円



○人件費：議員報酬、職員給与など ○扶助費：生活保護費や医療給付費
○普通建設事業費：道路や公共施設整備などの経費 ○補助費等：各種団体への補助金、公営企業への繰出金
○物件費：光熱費、委託料、賃金など ○繰出金：特別会計等への繰出し ○維持補修費、積立金など：修繕費、積立金など

平成26年度

4つの柱を中心に審査

一般会計・特別会計及び企業会計を審査しました。

正な維持管理の促進と公共用水域の水質保全を図るため、維持管理費用の一部助成事業に約1,900件の助成を行った。

自主防災組織は現在38組織、引き続き設立支援や避難訓練、研修会を行う。

監査意見書

一般会計・特別会計については、会計管理者から町長への決算書の提出は6月25日、決算審査は8月17日から28日まで行い、決算数値は正確と認める。

で前年度より1・8ポイント下がり、財政の健全化が図られている。

財政の能力を示す財政力指数（1を超える）と地方交付税（不交付団体）は0・32で前年度と同じ数値だが普通交付税は減少している。

町税などの収納未済額は前年より僅かに減少しているが、慢性的滞納に至らないよう、税の負担の公平性のため、徴収には全町的な取り組みが必要である。

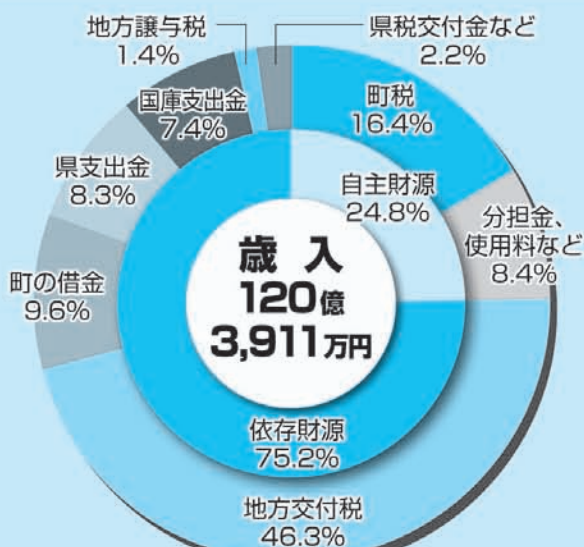
実質公債費比率は10・4%

決算に対する反対討論

反対

矢山 武議員

平成26年度決算で、繰越金と基金と併せ財政調整基金が増加する中で、政策の見直しを図るべきである。補助金の範囲内で事業を進めるのは改め、町債の返済や新たな借金を抑制し、人口減少、高齢化が進む中、町民の声を反映させ、農業政策、国保税、介護保険料の引き下げを検討すべきと提起し、今こそ町政をくらし本位に与え上げ反対討論とする。



歳入決算額

町	税	19億7,757万円
分担金使用料など		10億711万円
地方交付税		55億6,895万円
町の借金		11億5,279万円
県支出金		10億558万円
国庫支出金		8億8,825万円
地方譲与税		1億7,954万円
県税交付金など		2億5,932万円
合計		120億3,911万円

- 町税：町民税など ○分担金、使用料など：保育料、住宅使用料など
○地方交付税：標準的な町の財政規模を定め、不足するお金が国から交付される
○国庫支出金：特定の事業のために国から交付されるもの
○県支出金：特定の事業のために県から交付されるもの
○地方譲与税：国税の一部が交付されるもの ○県税交付金など：県税の一部が交付されるものなど

福田義人議員に対する 議員辞職勧告決議 可決

平成27年3月に起こった福田義人議員による障害者に対する差別発言事案は、当事者に大きな精神的苦痛を与えたのみならず、著しく世羅町議会への信頼と品位を失墜させることとなった。

9月定例会において、福田義人議員に対する議員辞職勧告が発議され、賛成多数で可決した。同時に「人権尊重推進に関する決議」を可決し、町議会として改めて人権を尊重する責任ある活動を行う決議を表明した。

福田義人議員に対する辞職勧告決議

提案者…仙光保喜

賛成者…徳光義昭・田谷幸奏・岡田武士・下原嘉雄・新原 浩・生田智康

福田義人議員は、平成27年3月20日の議会終了後、障害のある人を同乗して世羅保健福祉センターへ行き、センター駐車場で降車した際、居合わせた世羅町職員に対し障害のある人を差別する発言を二度にわたりに行った。

この福田義人議員の発言は、悪質であるとともに人権侵害に該当することから、世羅町議会は福田義人議員に対し議員としての自覚を認識するとともに当該発言を重く受け止め、人権尊重を基本とした適切かつ慎重な言動を心がけるよう厳重注意を行い、猛省を求めた。

身の考えを一方的に拡散させたことは、議員個人の問題で済まされるものではなく世羅町議会の品位と名誉を失墜させるものであり、町民からの信頼を大きく損なうものである。

議員の身分に関する決議は軽々に扱われるべきではない。ましてや議員が議場外で行った発言については、議員本人の責任により解決されるべきものであるが、人権侵害が発生してから半年の年月が経過する中で、世羅町議会に対する不信感は拭かれておらず、議会に対する町民からの信頼回復は急務である。

したがって世羅町議会は、福田義人議員に対し議会の権威と信頼を損ねた責任と公人としての自らの責任を真摯に受け止めるとともに、社会的道義的責任を感じ自らの意思により、直ちに議員の職を辞することをごに勧告する。

以上、決議する。

辞職勧告決議への討論

反対

矢山 武 議員

辞職を求めることによって議会の信頼回復が図られるとは思わない。議員に対する辞職勧告は客観的な基準に基づき行わないと、気に入らないことを言う辞職勧告を出すという方向になると思う。

反対

福田 豪 議員

ひとりの議員の発言が議会全体の信用まで損ねるとは考えられない、議会の問題と個人の問題は区別すべき。一議員への辞職勧告では問題解決にはならず、議会の体質改善にはならない。

賛成

岡田 武士 議員

この問題については、全員協議会で何回も議論してきた。厳重注意も行ったが、本人が自分の発言に対し真摯に反省しているとは思えない。町民の皆さんに議会としての考えを発信すべきと思う。

世羅町議会議員の人権尊重推進に関する決議

私たちは、町民から信託された代表であることを自覚し、町議会議員としての良心と責任を持って政治活動を行い、「町民憲章」の理念を実現するための先導者とならなければなりません。

特に、町民が等しく有する基本的人権を尊重するあたにかいまちづくりを率先して推進することは、私たちにとって最も重要な責務であります。

私たちは、ここに、町民の期待に応え、人権を尊重する責任ある行動を行う決意を表明し、もって開かれた信頼される議会の実現、ひいては議会制民主主義の健全な発展に資することを決議します。

平成27年9月3日 世羅町議会



体育館を食品製造工場に

視察研修報告

総務文教常任委員会

平成27年7月30・31日の2日間、兵庫県香美町及び同県養父（やぶ）市を視察した。

兵庫県香美町

調査事項

地域医療の現状について

◎香美町の概要

・平成17年3町が合併し香美町が誕生【視察時の人口19,265人、高齢化率35・50%（県下二）】

・医療機関は、2公立病院、8国保診療所、4開業医

◎地域医療の課題

香美町医療体制検討委員会で「医療体制全体の中長期のあり方」「病院についての基本的な考え方」「国保診療所についての基本的

な考え方」を検討した結果、「公立香住病院の転換」「国保診療所の医師確保困難」に変化が生じた。

◎取り組みによる成果

・評価
〔児童救急巡回

セミナー）

若手医師が巡回指導

〔地域医療フォーラム〕

住民・医療・行政によるパネルディスカッション方式の意見交換会

〔地域医療巡回講座〕

合計50回、参加者数約1,620人で現在も継続中

〔子どもへの地域医療啓発の取り組み〕

絵本を活用してアプローチ

◎医師招へい・定着に向けての課題

医師の思いは「必要とされる地域で、すべき仕事がある」こと

調査事項

兵庫県養父市

関係の構築が求められる。

・町民と医師との緊密な

解と協力を求める。

交換会等を実施して理

また、住民参加の意見

病院と行政・議会との

「世羅地域の医療を考

える集い」を継続し、

視察結果

・既に実施している

・地域の理解と協力

共有

・医師と行政との認識

・病院の役割・特色

・生活環境の整備

◎市の誘致活動

・ホームページの開設
・展示会出店
・企業立地ガイドの作成

◎その他

・参入時の改修などの経費負担

すべて「現状渡し」を前提

・地域への波及効果

約130名の従業員

のうち地元採用が6割

・社会貢献

地域との交流・グラウンドの無料開放

地域のシンボルを残す

視察結果

・養父市は、校舎、体育館、グラウンドを一括貸与しており、世羅町とは相違があることから、今後の利用方法については、更に検討する必要がある。

◎廃校活用事例

・廃校の現状（5年間）

・廃校舎数12校

・活用済み校舎6校

・現在募集中 4校

・その他 2校

5

視察研修報告

産業建設常任委員会

平成27年8月24・25
日の2日間、徳島県三
好市と香川県さぬき市
を視察した。

徳島県三好市

(株)山城もくもく

調査事項

薪ボイラーに係る木
材利用を中心とした森



温泉施設に薪ボイラー利用

林整備と薪の供給な
どについて

①(株)山城もくもくは
森林整備と林業後継
者育成を目的とした
第三セクターの林業
会社で、パネル加工販
売に加え間伐材など
で薪を生産し市内の
6温泉施設に供給し
ている。

②温泉施設が所有す
る薪ボイラー(計15
基)で使用する薪は年
間1300トンで木
材会社の不用材や間
伐材など安価なもの
で安定供給に努めて
いる。

③供給先の温泉施設
はこれまでの重油等
と薪ボイラーとの併
用で燃料経費の軽減

効果が現われている。

本町においても、放
置される山林の活用を
進める方策を具体化す
べきと考える。

香川県さぬき市

大川町豊田自治会

調査事項

自治会ぐるみでの獣
害対策の取り組み

①豊田自治会は総戸数
28戸、内非農家6戸。
約13haの水田と傾斜畑
の果樹園により構成さ
れている。平成3年ご
ろから獣害が多発し
た。

②田の周辺にメッシュ
柵と電気柵とを複合し
た強力な柵を全域に地
域ぐるみで設置した。

③農地と里山の間に5
mから10mの緩衝帯を

集落全体に設置、年2
回の草刈りなど緩衝帯
と柵の管理作業は非農
家を含む全世帯共同で
行っている。経費は自
己資金と中山間等直接
支払い交付金を活用。

⑤子どもを含むサロン
活動を行うなど集落内
の一体感で、地域づく
りを活発に取り組んで
いる。

④捕獲したイノシシの



豊田自治会での懇談会

報告します 委員会は 今

総務文教常任委員会

障害者相談支援事業の現状

調査事項

○せらにし支所

〔事務スペースの有効活用〕

・カウンターの設置位置の変更

・マイナンバー制度対応の待合コーナーの新設

・空スペース（2区画）を会議室に転用

〔事務処理体制の変更など〕

・支所受付事案票の活用（事務遅延・過誤防

止策）

・出張窓口の設置（相談会場、受付）

○子ども議会の現状と課題

〔現状〕

・質問者は、立候補などにより各校4人選出。

・質問内容は、3年生全員で検討し決定。

・町に対し自分で何ができるか本気で考える。

・質問項目が施策として実現できる。

・緊張感の中でやりきり表現力が高まり自信になる。

・他の生徒の見本となり、すばらしいリーダーになる。

〔今後の課題〕

・今後の継続については、当面3年程度で検討

○全国学力・学習状況調査結果の概要

〔小学6年生〕

対象科目 国語・算数・理科

結果 全教科の平均正答率は、全国平均、広島県平均を上回っている。

〔中学3年生〕

対象科目 国語・数学・理科

結果 国語B、理科の平均正答率は、全国平均、広島県平均を上回っているが、その他は下回っている。

○「基礎・基本」定着状況調査結果の概要

〔小学5年生〕

対象科目 国語・算数・理科

〔中学2年生〕

対象科目 国語・算数・理科

○障害者相談支援事業の現状

対象科目 国語・数学・理科・英語

結果 小中学校ともにすべて広島県平均を上回っている。

○福祉課の相談件数

・8月までに100件以上の相談があった。

・相談件数が多い。

・相談内容は、福祉サービスや不安解消・情緒安定に関する相談が多い。

福祉課保健師が担当している。

〔今後の課題〕

・相談支援事業は町内業者への委託が理想であるので来年度に向けて「みつば会」と鋭意協議したい。

○常設サロンの開設状況

・現在自治センター（11）及び世羅中央病院内に開設済み、甲山地区は本年11月に開設

○「開設後の課題と問題点」

・会場が遠く送迎を希望

・参加の呼びかけを行うが新しい方の参加に結びつかない。

○デマンド交通の運営

〔利用状況〕

登録者数 7292人

実利用者数1060人

・利用場所 世羅中央病院、診療所、大型商業施設

〔アンケート結果〕

・認知度 知っている97%

・利用 利用している17%

・利用先 病院85%

・買い物53%

・要望 本数の増加、土日の運行

〔今後の動向〕

・商工会、タクシー業者と運行方法について協議を継続

・土日の運行（運転手の確保、車両の更新など経費面に課題）

・地域内交通との兼ね合いを検討



せらにし支所

公共下水道事業の現状



神崎大池改修工事

現地調査

○道の駅「世羅」の運営状況

・世羅町観光協会・商工観光課より駐車場及び臨時駐車場の状況を聞く。土日曜の利用客が計画より多く現在の臨時駐車場の状況をみて、土地の取得を検討する。

○町道の整備計画の現状

・町道宇根山1号線
延長453mを林道
接続のため買収を進める
・陳情8号 町道東神崎本線改良現地調査
・神崎大池改修工事
堤体工事28年2月完成予定
・県代行林道下津小世

良線残り680mを平成30年度完成予定

調査事項

○公共下水道事業の現状

進捗状況
・公共マスの設置数と接続状況。接続状況は232件で51・6%。
今後再検討を求める。
・世羅中央病院付近の105・9ha認可変更申請し9月に認可見通し。

○家庭ゴミの収集の現状

不燃ゴミは3地区に分けて3業者に委託し三原市の処理工場に運搬している。事業ゴミは事業者の責任で処理しなければならないことを、事業者に周知を図り、今後指導していく。収集運搬の実態調査をし、今後把握に努めたい。

議会基本条例小委員会報告

調査事項

世羅町議会基本条例等に関する報告

①平成26年3月12日小委員会設置後、11回の協議と、4回の作業部会を経て、小委員会としての案を作成した。
②町民の意見を求めるため、世羅町ホームページでパブリックコメントと、議会だより40号で意見を公募した。

そのほか、町内13箇所で開催した議会報告会・意見交換会の会場でも意見を聴取した。その結果

・世羅町議会基本条例(案)
・世羅町議会倫理規程(案)
・公募による意見の募集に対する考え方(案)

・議会報告会・意見交換会での意見に対する回答(案)が小委員会から示された。

【協議結果】

①議会基本条例(案)に関し委員から様々な意見が出されたため、その意見を反映させ

たものを今後委員全員により検討のうえ、世羅町議会としての結論を出すこととした。

②公募による意見の募集に対する考え方及び議会報告会・意見交換会での意見に対する回答については、自治センタールへの回答などの方法により公表することとした。また、パブリックコメントへの回答は世羅町ホームページへの掲載により公表する。その他

6月16日、本委員会で確認した定例会中の人権研修については、次回12月定例会で実施し、内容等を検討し報告することとした。

議会報告会・意見交換会での議会基本条例(案)等への意見に対する回答については、各自治センターでご覧いただけます。また、パブリックコメントへの回答は世羅町ホームページへ10月下旬の掲載を予定しております。

請願・陳情を審査しました

9月定例会において、6件の陳情審査を行い、採択3件、不採択2件、継続審査1件となりました。

番号	件名	請願・陳情者	委員会の意見	審査結果
4	議会傍聴および議会改革に関する陳情	世羅町の障害者施策を考える会 代 表 盛次 信晴	将来的には見直しが必要な事項もあると考えるが、現状においては対応困難な面などがある。	不採択
8	町道東神崎本線道路拡幅の要望	東神崎振興協議会 会 長 實川 瀧雄 外 41 人	要望の趣旨は、妥当と考える。	採 択
9	有害鳥獣の捕獲許可についての要望	津名地区振興協議会 会 長 前原 春夫 外 5 団体	要望の趣旨は、妥当と考える。	採 択
11	辞職勧告要望書	障害を持つ子の親 實久 誠	本定例会冒頭、可決している案件につき不採択。	不採択
12	ごみ委託についての要望書	せら改革の会 代 表 實久 誠	議会の権限に属さず、執行者の権限に属する要望が大半で項目也多岐にわたっており、詳細なる調査研究をしたいので閉会中の継続審査とする。	継続審査
13	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費2分の1の復元をはかる要望	広島県教職員組合世羅支区 委員長 荒谷 誠	要望の趣旨は、妥当と考える。	採 択

人 事

教育委員会

委員の任命に同意した

松浦 ゆう子氏
 まつ うちら
 世羅町大字西神崎

人権擁護委員

委員の推薦諮問を適任とした

生田 そのえ氏
 いく た
 世羅町大字赤屋

人権擁護委員

委員の推薦諮問を適任とした

伴場 幸子氏
 ばん ば
 世羅町大字安田

人権擁護委員

委員の推薦諮問を適任とした

中土居 信行氏
 なか ど い のぶ ゆき
 世羅町大字伊尾

固定資産評価審査委員会

委員の選任に同意した

本郷 啓子氏
 ほん ごう けい こ
 世羅町大字小国

提出議案等の採決結果

第3回世羅町議会定例会（平成27年9月）

（賛否の分かれたもの）

議案番号	提出議案	採決	田谷	盛谷	岡田	米重	仲行	矢山	福田義	福田豪	下原	新原	生田	徳光	仙光
発議第4号	福田義人議員に対する議員辞職勧告決議	可決	○	○	○	○	○	●	除斥	●	○	○	○	○	○
発議第5号	議会議員の人権尊重推進に関する決議	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	町道路線の認定について	可決	欠	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	欠	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	手数料条例の一部を改正する条例	可決	欠	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	平成26年度一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠
議案第77号	平成26年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠
議案第78号	平成26年度後期高齢者医療制度特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠
議案第79号	平成26年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠
議案第84号	平成26年度公共下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	欠
議案第86号	平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	欠	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
陳情第4号	議会傍聴及び議会改革に関する陳情	不採択	●	●	●	●	●	○	●	○	○	●	●	●	欠
陳情第11号	辞職勧告要望書	不採択	●	●	●	●	●	●	除斥	●	●	●	●	●	欠
陳情第13号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請について	採択	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
発議第6号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書提出について	採択	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 除斥：利害関係のある議案について審議から外れる制度

（全員一致で決定したもの）

議案番号	提出議案	採決	議案番号	提出議案	採決
議案第74号	ふれあい市場設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例	可決	議案第88号	平成27年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第75号	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案第89号	平成27年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第80号	平成26年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	議案第90号	平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第81号	平成26年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	議案第91号	平成27年度上水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第82号	平成26年度上水道事業会計決算認定について	認定	議案第92号	平成27年度公共下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第83号	平成26年度簡易水道事業会計決算認定について	認定	議案第93号	平成27年度一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第85号	平成27年度一般会計補正予算（第3号）	可決	陳情第8号	町道東神崎本線道路拡幅について	採択
議案第87号	平成27年度後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第1号）	可決	陳情第9号	有害鳥獣の捕獲許可について	採択

※議案第76号から議案第84号までの9件は、9月7日に提出され、委員会の審査後、9月18日に認定。

町政の課題

ただ
12議員28問を質す

ページ	質問者	質問事項
12	新原 浩 議員	1. わがまちの地方人口ビジョン・地方版総合戦略の施策は 2. 県に対する道路、河川等の要望実施状況は 3. まちでのAMラジオの難聴対策は
13	矢山 武 議員	1. 道の駅世羅のモニメントはどのような効果があるか 2. 高齢化・過疎化が進む中、財政の今後と定住環境をどう守るか 3. イノシシ対策と米農家を守る集落の活動支援を
14	下原 嘉雄 議員	1. 町の山林対策、竹林対策の現状と今後の具体策は 2. N I E（教育に新聞を）の町の現状と後は
15	生田 智康 議員	1. チャンス到来、今こそ企業用地造成を 2. 道の駅世羅は進化しているのか 3. 宇津戸臭気公害はどうなった
16	田谷 幸奏 議員	1. 地方版総合戦略及び第2次世羅町長期総合計画の策定状況について 2. 町政に関する説明責任は、十分果たされているか 3. 災害に強いまちづくりについて
17	仲行 洋 議員	1. 介護保険と高齢者福祉について
18	米重 典子 議員	1. 女性の活躍促進に向けた取り組みは 2. わが町の医療を守るための施策は
19	盛谷 光明 議員	1. マイナンバー制度について 2. 消費者教育の充実について
20	徳光 義昭 議員	1. 大田自治センターの建築計画を問う 2. 空き家などの適正管理の条例制定を 3. 世羅台地にクロスカントリーの整備を
21	岡田 武士 議員	1. 職員の人材育成の現状と今後の育成について 2. 合併して10年経過した今日、町内の幼児児童達の現状はどうか
22	福田 豪 議員	1. 杭谷作品「天地花」設置の経緯を問う
23	福田 義人 議員	1. 道の駅世羅の運用状況と今後の方向は 2. 道路整備をどう進めるか 3. 期待されるイノシシパトロール隊



新原 浩 議員

わがまちの地方 創生の施策は

答 住民と行政の方向性を調整し

今後の計画策定に取り入れる

新原

地方版総合戦略では政策分野ごとの目標や施策に関する基本方向などを定めるように求めているが、取り組みは。

① 地方版総合戦略策定の今後の予定は。

② 4つの基本目標を実現するための取り組みは。

③ 策定委託業務実施の内容は。

町長

① 総合戦略推進会議において10月中旬まで計画案をまとめ、11月初旬から中旬にパブリックコメントを実施、12月に議会説明を予定。

② 世羅ブランド確立や観光・食・農業の一体的産業としての発展。

・ 立地を活かした移住や企業誘致促進。

・ 妊娠・出産から育児までの充実した環境整備。

・ 住民相互の支え合い、交流を深める拠点づくり。

③ 過去のデータ分析と今の課題、計画の方向性を導き出す作業や、ウェブアンケートによる調査・分析、戦略推進会議の支援など行っている。

県に対する道路、河川などの要望実施状況は

答 経過観察の場合は住民に対して説明対応して行く

新原

道路や河川などの維持管理のために要望申請を出しているが、どのような経過をたどっているのか。

町長

県に対する過去4年間の道路・河川の要望件数と実施件数は、要望131件、実施77件。要望に対する県の現地調査などの確認は、一括要望後に日程調整し、県と町の担当課により現地確認を行っている。経過観察の場合は、住民説明を行い再度要望を行う。

まちのAMラジオ の難聴対策は

答 今後の動向を注視し放送事業者との協議を行う

新原

災害などの緊急時対策として、放送局と連携しFM補完放送の活用を提案する。

町長

平成29年度に三原への整備が予定されており、町区域のカープも可能で今後の動向を注視し、放送事業者との協議を行う。



FM 補完放送の活用を

※ ワイドFM（FM補完放送）＝FM（超短波）の周波数を用いて、補完的にAM番組を放送すること

「道の駅世羅」の モニュメントの効果は

答 町のシンボルとして観光集客に
効果を期待する



矢山 武 議員

町長

芝生広場約290㎡に、民間都市開発機構の基金と応援寄付金により、ふるさと夢基金事業として杭谷作品「天地花」を設置する。土地については、町有地の使用許可を出す。町のシンボルとして観光集客に大きな役割を果たし、活性化に資すると期待している。

矢山

住民の声を大切にすると町の観点から、その効果と今後の活用策は。当初計画にはなく、モニュメントの設置場所や使用許可はどうか。

財政の今後と 定住対策は

答 慎重な財政運営に
努める

矢山

人口減少が進むなか、今後の財政が心配される。合併十年で借金は減少しているが、今後も希望が持て安心できる町づくりが重要である。定住促進のための計画的な集落環境整備が求められる。

自治センターの役割も重要となるが、統括責任者としての振興会長と、センター長との関係はどうか。

町長

平成26年度決算では町債残高は6億円減少し130億円、財政調整基金残高は35億6千万円である。今後重要性・緊急性を検討し事業を具体化する。

自治センター長は常勤とし、一定の責任を持ち、地域スタッフの雇用など指定管理者として役割を担う。

イノシシ対策と集落支援は

答 持続可能な農業に向け取り組む

矢山

イノシシ被害は増加傾向にある。米価が下がるなか耕作放棄地も増加すると考える。法人、認定農家への対応と併せ、集落への対策強化のためリーダーの育成が求められる。

町長

実施隊による平成26年度の捕獲は464頭、防止柵は106地区250kmの設置。今後も被害防止に努める。

集落法人37、認定農業者112経営体で併せて水田の力率43%である。町独自の振興対策事業で機械や格納庫などの導入支援を行っている。関係機関と連携強化し、持続可能な農業に向け取り組む。



電気柵とメッシュ柵の併用例

山林、竹林対策の現状と今後の対策は

答 ひろしまの森づくり事業と連携する



下原 嘉雄 議員

町長

「ひろしまの森づくり事業」は年度末に世羅町森づくり推進協議会で候補地を選定し、「人工林健全化事業」及び特認事業として町内のNPO団体に補助している。

竹林の整備は「森林・山村多面的機能発揮対策」を活用して現在、町内6団体中4団体が活動されている。この竹林整備は空き家の裏山や不在地主の山林など今後の課題であり施策の検討を行う。

下原

町の森林面積は全体の51%、未整備部分の整備は災害・環境対策からも重要だと思う。今までの答弁では「森林組合などと連携し、ひろしまの森づくり事業を中心に」とあったが、地域が限られるため他の支援事業も研究し整備面の拡大を強く望むが。

教育長

学校では、国語科の学習指導要領において新聞を活用して、読むことと能力を育てるため、NIE教育は有意義と考えている。

本町では活用例として朝の新聞スピーチを行っている。また、学校行事を壁新聞として作成し、文化発表会で発表展示している。

図書館の新聞選定は3館に地方紙1と、各館異なる全国紙1、交互に読んでいただけるよう取り組んでいる。

下原

全国的にNIEの実践が広がっているが当町の現状は。

今日では新聞を全く読まないという答えた小学6年生は75・9%、中学3年生は80・5%この調査結果は、将来を危惧する状況では。学力調査でも読む児童は成果大とある。教材としての新聞の選択また題材は、どのように選ばれるのか。

新聞を数多く読み、自分達の新聞づくりなど体験し、判断力を身につけ将来に役立てては。

新聞を読める場として図書館があるが、備えている新聞については、その扱いの公平・公正を強く望むがお考えを。

NIEの現状と今後は

答 朝の新聞スピーチで活用している



教育に新聞の活用を

※ NIE=教育に新聞を活用すること



生田 智康 議員

今こそ

企業用地造成を

答 第2次長期総合計画で示す

生田

①県の補助金、国の地方創生交付金を活用し企業団地造成を。
②多目的グラウンドとして土地を購入、町民に利用してもらいながら企業にアプローチする方法は。

町長

①採算性や町の負担を考えると慎重な判断が必要。
②可能な限り補助金を確保し、十分な計画のなかで、整備を行うことが重要と考

「道の駅世羅」は進化しているか

答 売上平均は当初計画の約2倍

生田

①町内の観光施設の状況は。
②閑散期の取り組み計画は。
③道の駅の基本は野菜販売では。



道の駅売り上げ好調

町長

①インフォメーション効果で産直市場などでは前年対比増となっている。
②春に向けたPR・各種イベントが計画されており、こうしたイベント自体が「世羅」を情報発信していくもとと考えている。
③「道の駅」の認定要件は「休憩」「情報提供」「地域連携」の3機能。しかし、ニーズとしては野菜など地域産品の充実も重要。

宇津戸

臭気公害は

どうなった

答 第2次

改善勧告も

視野に入れ
対応

生田

①本年5月から7月の臭気測定指数は。
②隣地の用地取得経過は。

町長

①基準臭気指数15以上は3回あった。
②今後も用地取得に関する地権者と事業者のパイプ役として早期解決に向け努力する。

町政に関する説明責任は

答 親切・丁寧な行政執行を



田谷 幸奏 議員



ふるさと夢基金を活用した
モニュメント設置の説明責任は

町長

①「道の駅世羅」は、まちづくり懇談会や各種機会を捉え、また要請に基づき個別に説明し、「ふるさと夢基金」は、町のホームページ、広報せらなどで、それぞれ事業が確定後知らせている。

②町民への事業、施策の内容については、行政としての説明責任を果たし、町民の納得性を確保する必要があるため、今後とも親切・丁寧な行政執行に努める。

田谷

①「道の駅世羅」及び「ふるさと夢基金」について、事前に町民に対する情報提供は、どのような方法で行ったのか。

②今後、重要な事業、あるいは新規事業で町民に事前に周知する必要があると認めた際の説明方法は。

町長

同時策定中の第2次世羅町長期総合計画の施策・事業をより充実させ、地方版総合戦略に掲げる目標達成をより確実にしたいと考えたためであり、その結果、地方創生に係る交付金の上乗せ分約一千万円を受けることができない。

田谷

地方版総合戦略を10月末までに策定できない理由および遅延に伴うデメリットは。

答

第2次世羅町長期総合計画を充実させるため

地方版総合戦略の策定が遅延する理由は

今夏の台風などの被害と対応は

答 その都度行政としての対応を

町長

今年度の集中豪雨による大雨洪水注意報発令8回、同警報発令3回。その都度、注意体制、警戒体制で対応している。

7月の台風の際は、災害対策本部を設置して対応した。これらの集中豪雨で公共土木施設災害6件、農地・農業用施設災害52件が発生している。また、暴風警報などで倒木被害が発生し、職員及び路線委託業者で除去作業などの対応をした。

田谷

7、8月に発生した台風に対する被害状況と行政の対応は。

大丈夫か！ 来年度から始まる地域支援事業は

答 現在準備中、今後説明会を開催予定



仲行 洋 議員

仲行

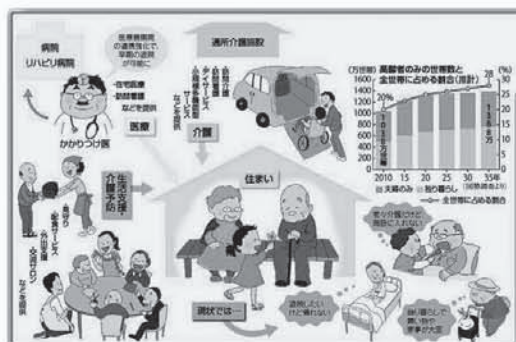
①平成28年度より予防給付のうち訪問介護と通所介護を、介護予防サービス事業所やNPO、ボランティア団体などのサービスによる地域支援事業への移行を計画しているが準備の状況は。

町長

社会福祉法人及び介護サービス事業所、ケアマネージャー、自治センターなど地域の方のご意見を伺い、役場内関係課の会議を開催し、新たな事業の制度設計を進めている。
今後サービスの提供者となっていたただける事業者や地域の団体に対して制度の説明会の開催と、事業の担い手育成のために世羅町社会福祉協議会に委託して人材育成を行う予定である。

仲行

②この度の制度改正では、特別養護老人ホームの新規入所者を要介護3以上に限定したが、入所の状況と新規入所者への影響は。
また現在の待機者は何人か。



地域包括ケアシステムの構築

仲行

③介護が必要になった高齢者も住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように「医療・介護・予防・生活支援・住まい」のサービスを一体的に受ける「地域包括ケアシステム」の構築への取り組みは。

町長

平成27年3月時点で、入所者のうち要介護3以上の方が占める割合は9割以上である。入所判定会において介護度が重く入所の必要性の高い方が入所されるようにされているので新規入所において変化はない。待機者の数は334人でそのうち要介護3以上は199人である。

町長

地域支援事業への対応に加え、広島県地域包括ケア推進センターの専門職の派遣などの支援を受け、介護や医療の専門職や関係機関によるネットワークづくり、退院時の連絡調整や看取りの体制づくり、訪問介護・訪問看護などの在宅サービスの確保、介護人材の確保・育成、民間企業や住民ボランティアなどによる生活支援サービスの提供、認知症サポーターの養成や高齢者の見守り体制の整備に取り組む。



米重 典子 議員

女性の活躍促進への取り組みは

答 はんぶんこ推進会議との連携で啓発活動を

米重

女性の活躍促進は地域活性化にも大きく貢献すると思うが、町の取り組みは。

- ①委員会、審議会の女性の割合は。
- ②「せらまちこまち」の活動状況は。
- ③男性の育児参加推進の取り組みは。

町長

- ①委員会数は5で女性委員がいる委員会は3、委員数41人のうち女性性は7人で17・1%、県平均16%を少し上回っている。審議会は29のうち23で329人のうち83人で25・2%、県平均25・25%とほぼ同じ。
- ②「せらまちこまち」は町内の農業女子14人で活動している。活動内容は、農業体験や農家民宿でのイベント協力、世羅産農産物の紹介など。9月東京で開催される定住PRイベントにも参加予定。
- ③はんぶんこ推進会議と連携して、男性の育児休暇や育児参加が増えるよう事業所や地域での学習会や話し合いの場を増やしていく。

わが町の医療を守るための施策は

答 行政、医療者、町民が一体となり取り組む

米重

医療機関の充実度は定住対策にも大きく影響する。町の現状は、どちらかといえば恵まれていると思うが今後維持していくための施策は。

- ①基幹病院である世羅中央病院との連携は。
- ②地域医療にとって大切な存在である郡医師会との連携は。
- ③地域医療を支え育てるための住民への啓発は。

町長

- ①経営健全化や施設などの充実のため、経費を一部負担している。また病院と広島大学と連携し研究事業を行っている。そのほか、健康づくり講演会などにもご協力いただいている。
- ②在宅当番医制により休日の救急を受けていただいている。また歯周疾患健診では町内歯科医のご協力をいただいている。
- ③議会、世羅中央病院企業団、世羅郡医師会のご協力をいただき、地域医療について町民の皆様と共に考える「世羅町の医療を考える集い」を平成25年度から開催している。今年度も来年1月に開催予定。



住民との協働で地域医療を守る

マイナンバー制度について

答 個人情報情報を正確かつスムーズに
確認するための番号制度



盛谷 光明 議員

町長
国民一人ひとりに異なる12桁の番号を付番し、その番号を利用することにより、複数の機関に存在する個人情報が一人の情報であることを正確かつスムーズに確認するための社会基盤を構築するもの。

盛谷
①マイナンバー制度とは、どのような制度か。

町長
個人番号は強力な個人識別機能を有することから、番号利用法では、個人番号に含まれる特定個人情報について、従来よりもさらに厳格な保護措置を講じることとされている。本町では、この番号利用法の趣旨をふまえ、特定個人情報の厳正な管理と適切な運用を行っていくために、世羅町個人情報保護条例を改正して対応する予定。

盛谷
②マイナンバー制度は、年金・労働・税・災害対策などに利用されるが、個人情報漏洩することはないのか。

町長
今年10月5日以降、町民の皆様へ、マイナンバーが記載された「通知カード」が送付され、平成28年1月以降からは、希望者の申請により、顔写真付きで電子証明書が格納された「ICチップ搭載の「個人番号カード」が交付される。

盛谷
③今後の取り組み、計画について。



いよいよ始まる
マイナンバー制度

町長
町では生活相談員を配置するなど、消費者相談に取り組むとともに、購入にあたっては十分な情報・知識をもって正しい自主的判断を下す力を養成することが被害防止に繋がることから、消費者教育にも取り組んでいる。

盛谷
近年ネット社会の進展に伴い消費トラブルが多く発生している。
町では、どのような対策をしているか。

**消費者教育の
充実について**
答 関係機関との連携
で効果的な消費者教育の
推進に努める



徳光 義昭 議員

大田自治センターの建設計画を問う

答 5年を目途に完成したい



早期整備が望まれる大田自治センター

徳光

大田自治センターは、耐震診断の結果に基づき建物の改修、地域内の公共施設への移転、建物改築が検討されている。安全性、利便性の向上など早期の建設を問う。

町長

大田地域の活動拠点である大田自治センターは昭和40年建築で、50年経過している。建物すべての階で耐震補強が必要な状況を十分認識の上、地域の方々との協議により5年以内に完成したい。

空き家適正 管理条例制定を

答 今年度末に

制定したい

徳光

平成24・25年空き家の適正管理条例を提案した。平成27年5月空き家特措法が施行され、自治体は関連条例を早期に制定し、法整備により撤去や有効活用が期待されるが何う。

町長

条例の制定により、地域住民の生命、財産の保護が図られる。今後は移住、定住の支援策として総合戦略の中に盛り込みたい。特に、「おためし住宅」としての取り組みは地域振興に寄与するものであり、今年度末までに制定したい。

せら夢公園にクロスカントリーの整備を

答 設置者である県と協議したい

徳光

県民公園の一部にクロスカントリーの整備を提案する。

町長

広島県が新たな魅力創出の拠点として平成18年開園し全63haで現在27haが公園、36haが冒険の森に計画され残地となっている。この公園の更なる活用として多数の来園と魅力ある世羅町を発信するには良い場所である。地方版総合戦略や長期総合計画で世羅町の元気のある良い提案ができれば、検討に値するのでは。

教育長

町内のマラソン、駅伝など8つの大会を開催している。町民、走路員への負担を考えると限界である。教育委員会の所管でないが、クロカンコースが整備された暁には子どもから大人まで面白い魅力的な話だと思う。



岡田 武士 議員

職員の人材育成は

答 町民に信頼される職員の育成に取り組む

岡田

町民に身近な行政のプロとして効率的で質の高い行政サービスを期待するが、人材育成、人事評価はどうなっているか。

町長

平成18年2月策定の世羅町人材育成基本方針に沿って人事評価制度の導入や職員研修の充実に取り組んでいるが、結果は徐々に表れてきている。今後も職員の意識改革や能力開発などの人材育成に取り組んでいく。
人事評価については平成28年度から制度を導入し、これを任用・給与・分限など人事管理の基礎とする。

町内の幼児、児童生徒の現状は

答 安心して子育てできる町になるよう努める

岡田

- ① 町内小中学校で不登校やいじめの状況は。
- ② こうざん保育所廃止後の対応は。
- ③ 中学生海外研修や子ども議会の評価は。

教育長

- ① 平成27年度一学期末現在、不登校は小学校0人、中学校は9人、学習相談室では中学生6人が学習している。不登校児童生徒個々の実態に応じ、心のふれあい相談員などと連携して対応している。今年度いじめの認知件数2件。昨年度いじめ防止基本方針を策定し、いじめ防止に取り組む体制づくりを行った。
- ③ 中学生海外研修はホームステイや交流による語学研修を通じて国際感覚を身に付け、たくましく生きる人材を育成することを目的に実施している。子ども議会は、郷土を知り、より良い町づくりに参画しようとする態度を育てることを目的とし、町内3校の中学3年生12人の子ども議員が、将来の町づくりに対して希望や提言を発表した。

町長

- ② こうざん保育所閉所後の施設は解体する予定。現時点で、入所児童は69人。新たに開設予定の私立認定こども園は定員120人。過去8年間の年間平均出生数は109・25人となっている。



認定こども園に移行されるこうざん保育所

道の駅への

モニュメント設置の経緯は

【答】要望書採択を受けて判断

福田豪

道の駅へモニュメントを設置する事業が、世羅町ふるさと夢基金事業として決定した。この決定に至る経緯を尋ねる。また、予算、財源はどうなっているのか。



福田 豪 議員

町長

モニュメントは、議会において要望書が採択されたことを受け、財源、場所等々を検討し現在に至っている。財源として、一般財団法人民間都市開発推進機構の拠出金を充てるため、折衝の結果「モニュメント設置がまちの魅力アップを含めた活性化効果がある」と認められ、2、400万円の追加拠出を受けることとなった。これにふるさと納税などの寄付金、一般財源を合わせ、基金造成している。また事業費が限度額を超過することを想定し、運用要綱を改正している。これらの経緯は、折に触れ、提示、説明している。ちなみに、昨年度寄せられた、モニュメントにかかわる寄付金などは、基金に積み立て財源としている。



町内にある杭谷一東作品



福田 義人 議員

道の駅世羅の運用状況は

答 地域活性化に期待する

福田義人

期待を背負ってオープンした「道の駅世羅」は開業以来好調な営業状況で推移しているが、町が描いた構想に沿った運用ができているか、今後の地域活性化のための運用や、生産者の地域間交流がより進むべきと思うが、杭谷彫刻を活用した芸術で町おこしをしてはどうか。

町長

町内観光施設の来客数増加や世羅産品のPR効果によって売上増となっており、リアルタイムな情報発信に努め、産品の販売促進を図り、地域活性化に期待している。

全国的に知名度の高い名誉町民の方もおられ、教育や芸術などの情報発信による、町のPRを行いたい。

徳市津口線の整備を早急に

答 県に強く働き掛ける

福田義人

少子高齢化が急速に進む地域だからこそ道路網の整備は重要である、津久志地区を南北に行き交う道路網は、旧態依然としたまま。国・県・町道にかかわらず暮らして密着した道路網は生活の要である。また昨年の豪雨で黒瀧川が決壊し氾濫、ハード面で遅れをとっているが早急の改善を望む。

町長

一般県道徳市津口線は重要な路線として平成11年に県道に認定され、その整備の必要性から県に対し早期整備を働きかけてきた。引き続き強く要望する。

黒瀧川の氾濫は、他の地区同様に、近年異常気象によるゲリラ豪雨などが関係していると考えられ、自然災害から生命財産を守るためには、重要な整備事項と考えており、関係機関と協議しながら整備を進めたい。



県道徳市津口線の改良は

期待されるイノシシパトロール隊

答 早期捕獲で被害の減少に繋げる

福田義人

依然として、イノシシ、鹿の被害や出沒被害は減少しない。抜本的な被害防止には、パトロール隊の任務は重要である、効果はどうか。個体数の減少につながる手立てを急げ。

町長

出動回数は84回。捕獲頭数179頭とわずかに増加している。少しでも早く捕獲してほしいという要望に応えたい。減少対策には集落ぐるみ侵入防止柵や箱罠の設置・電気柵などの推進にかかる活動経費の助成を今年度から実施している。

人生楽しんでチャレンジ

世羅町西上原 伊藤 妙子 さん

昭和13年旧甲山町に生まれ、世羅高校から東京の大妻学園に進学し、大妻コタカ先生の教えを受ける。帰郷し、大妻女子専門学校で教師となり、閉校後は中学校で教職を続けた。今でも大妻の校訓「恥を知れ」は心に刻まれ、「大妻コタカ顕彰会」の一員としてその精神を受け継いでいる。

退職を機に「何か人を喜ばせたい」と、当時設立から20年の歴史ある甲山奇術同好会に入った。以来、20年を過ぎた現在も月2回の練習を続けている。「時代と共に新しい演目にもチャレンジしている、でも時には種を忘れたりすること」と笑って話す。ボランティア登録し、地域行事などで披露している。

そのほかにも、平成22年には、得意な和裁の腕を活かし、町内の仲間とともに、世羅高校の生徒と一緒に着物リメイクによる「ちゃんちゃんこ」作りに挑戦、その取り組みが「温暖化対策エコレシピアードイション」で広島県のグランプリに輝いた。「高校生とレクリエーションを楽しんだら、昔話をしながら楽しく作業できた」と振り返る。

少しでも地域のために役に立てればと引き受けた民生委員も約20年務め、一昨年勇退し、今は少しのんびりしているとこ

ろ・・・。

これから何かやりたいことは、との問いに「手作りの服を子どもたちに着てもらいキッズファッションショーのようなものができたら・・・」と返ってきた。以前、子育てイベントで関わったことがあり、いまでも当時の服を持っていると声をかけられることがあるという。そうした喜びがまたつぎの何かへとつながっていく、「誰かを喜ばせるにはまず自分が楽しまないとね」と笑顔が返ってきた。

(米重 典子)



表紙紹介



見せた2人の一生懸命な顔に思わず応援にも力が入った。

さわやかな秋晴れのもと、こうざん保育所のお分園の運動会が開催された。かわいらしい児童たちの遊戯に心なごむ。「かけっこ」で

編集後記

世羅の大地に実りの秋がやって来ました。連休は、農家の皆様は稲刈りの作業で大変お疲れの事と思います。

現在は大型農機の利用で作業がとて効果的に行われていますが、半世紀前は田植えと秋の収穫は、家族総出で取り込んだものです。「道の駅世羅」が開業して9月24日で125日、レジ通過者が12万8千人と予想以上の繁盛です。

いつまでも繁盛する世羅の施設であってほしいと願います。

同僚議員の不適切な発言により町民の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。ここよりお詫び申し上げます。

今後、二度とこのような事がないように全議員で学習を重ねてまいります。(岡田 武士)

議会広報広聴
調査特別委員会

委員長／下原 嘉雄
副委員長／福田 義人(欠席)
委員／田谷 幸奏・岡田 武士
米重 典子・新原 浩

議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は12月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。